

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	1	1	・にぎやかな時に分離できるクールダウン部屋がほしい。 ・施設自体がもう少し広い方がうれしいが、外に連れ出してくれたりその分のフォローを十分してくれていると思う。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	5	0	・慌てている様子なので大変なのかと思いません。 ・もう少し専門的に勉強会を開くなどスキルアップしてほしい。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	6	0	・スロープが急ですが狭いので仕方ない。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14	2	0	
	⑤	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	1	0	・もっとプール活動を増やしてほしい。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	5	3	・期待も希望もしていない。 ・障害のない子ともしっかり触れ合ってほしい。 ・あってもいいが、なくてもいいと思っている。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	2	1	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	1		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	3		助言ではないが、同じ目線で考えてくれている。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	3		・保護者間も交流が持てる場がもっとあるといい。 ・障害がいろいろあることに気づいていない人もいるように感じる。 ・係活動は連携が取れていると思う。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	2	1	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	2	1	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	12	4		
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	1		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	1		

		チェック項目	はい	どちらとも いえなし	いいえ	ご意見
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	15	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休暇中はゆりかもめやバスでお出かけに連れて行ってくれたり、プールにもたくさん行け、親がやってあげたいと思っていることを取り入れてくれているので本人は毎日楽しく通っています。</li> <li>・学校とは違った楽しさがあるようです。</li> <li>・息子は先生たちも大好きで、今日はこぴあに行けるのかと聞いてきます。</li> </ul>
	⑱	事業所の支援に満足しているか	14	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々変わる区の助成などに対応することも大変だと思いますが、いつも変わらず支援頂き本当に感謝しています。</li> <li>・支援が欲しい時に支援なし。頼みづらく頼りづらい時があります。</li> <li>・夏休み等長期休みの保育時間がもう少し長くなるとより満足できるのですが。</li> <li>・父母会の係が大変じゃなければ満足です。体力的につらいです。</li> </ul>

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

改善したこと。改善目標。

・スロープが急であるという指摘があった通り、滑り止めの無い箇所で雨の日に転倒するスタッフが2名出てしま い、修繕依頼を行った。

・保護者から活動が固定化されているという意見は無かったが、あえて固定化している部分について、しっかり全員の保護者に説明できていないので、伝える機会をつくる。

・健常児との交流については保護者の意見が分かれていたが、施設としては、どんどん外に出ていって公共の乗り物や施設を利用し、地域の公園で遊ぶこと自体が、子どもの社会参加の機会だと思って日々活動している。

・個人情報について

遠足時に迷子対策として名札を付けているが、個人名が誰の目にもつく形状となっている。保護者と話し合い名札を作り直すことを検討する。

狭い玄関等の引継ぎでは、他の保護者の居る前で子どもの話をしている。いい話だけでないこともあり、問題行動等の相談を保護者から受ける事もある。話す内容を考慮し、話す場所や他人の存在にも気を

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(第3こぴあクラブ)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		曜日によって人数が異なり、動きの大きい子が多く狭く感じる日もある。重心の保育室は車椅子を置くだけで保育スペースが狭くなってしまう。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			2階の保育室に上がる階段が急で危ない。手すりを増やした。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		全職員とは言い切れないが、普段の会話から事前対策を考え、結果を報告しあう環境や雰囲気を作られている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公表予定
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者評価は今年度実施。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修のフィードバックを他の職員に行えるようにする。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		アセスメントツールの研修を全体で行った。アセスメントツールを支援に活かすための研修を今後行う。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			敢えて固定化している意図を保護者とも共有できるようにする。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	支援終了後は送迎等でスタッフが揃わず、振り返りを翌日に行っている。時間が足りないので、打合せの時間を早める等の対策を来年度に向けて考える。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		主観的な記録もあるので、研修や書式の変更を検討する。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年に二回のモニタリングを必ず行い、個別支援計画の見直しは複数で意見交換、検討するようにしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(第3こぴあクラブ)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関 や保護者との 連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		会議に出た職員が目的や内容を全職員に伝えきれていない。そこを伝えた上で、誰が会議に出るべきかを話し合うようにする。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		一部の職員に留まっているが参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			学童クラブとの交流の機会もあるが、地域の公園で、地域の子ども達と一緒に遊ぶ機会は多い。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			児童部会と相談支援部会に所長が参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		保護者会ではペアレントトレーニングに繋がる様な議題を取り上げて意見交換する機会を設けている。
保護者への 説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			施設側からのお手紙や説明で伝えた。で終わらず、難しい内容なので相手が理解できたか、確認するところまで丁寧に行く。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		苦情窓口には管理者と保護者理事の名前を挙げていたが、把握していない保護者も多かった為、再度保護者会にて伝えた。第三者委員の選定を行った。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	③⑤	個人情報に十分注意しているか		○		遠足へ行く際の名札を検討する。子どもの引継ぎをする際に他者の存在を意識して行う。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	新規施設を立ち上げてから避難訓練を行えていなかった。10月から避難訓練計画を立て直し、担当者を決めて毎月行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎日の打ち合わせで共有している。